

授業科目	* 公衆衛生学				単位	1		
履 修	必修	関連資格	保健師 高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11107J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	布花原 明子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>公衆衛生行政に勤務した経験をふまえ、すべての人々の権利である「健康」をまもるための国の責務と公衆衛生の主要な理念を解説する。そして、国や地域が人々の健康対策を講じるために、集団として健康状態をとらえる手法について概説する。また、私たちの日々の生活について、健康と環境の視点からみつめ、また地球環境と健康への影響についてもとりあげながら、主な環境対策を解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人々の健康をまもる国の責任と公衆衛生の意義を説明できる。 2. 公衆衛生の理念について説明できる。 3. 公衆衛生活動の基本となる地域保健法を説明できる。 4. 集団の健康をとらえるための疫学の概念を説明できる。 5. 環境が人々の健康に及ぼす影響を理解し、環境保健の主要な対策を説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	60						60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	40						40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル1～5を到達し、さらに公衆衛生の課題について関心を持ち参考図書などを用いて積極的に学習することができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 人々の健康をまもる国の責任と公衆衛生の意義を説明できる。 2. 公衆衛生の理念について説明できる。 3. 公衆衛生活動の基本となる地域保健法を説明できる。 4. 集団の健康をとらえるための疫学の概念を説明できる。 5. 環境が人々の健康に及ぼす影響を理解し、環境保健の主要な対策を説明できる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:すべての人々の健康と公衆衛生 本科目で担当する公衆衛生学の内容と関連科目についてガイダンスを行う。 健康の概念、公衆衛生の定義及び予防の概念について解説する。	講義	復習課題:授業内容	45
2	テーマ:公衆衛生の理念 プライマリヘルスケア及びヘルスプロモーションの理念について解説する。	講義	復習課題:授業内容	45
3	テーマ:集団の健康状態をとらえる 疾病の予防、健康の増進のための疫学の概念と公衆衛生との関係について解説する。	講義	復習課題:授業内容	45
4	テーマ:地域保健法 公衆衛生活動の基本となる地域保健法について解説する。	講義	復習課題:授業内容	60
5	テーマ:生活と環境・健康1(食品及び食の安全) 環境と健康の視点から、身近な食生活をふりかえり、人々の健康な暮らしを支える食品及び食の安全に関する制度を解説する。	講義	予習課題:日頃よく食べている食品の「表示ラベル」を持参する。 復習課題:授業内容	45
6	テーマ:生活と環境・健康2(ごみ・廃棄物) 環境と健康の視点から、身近な生活をふりかえり、人々の健康な暮らしとごみ・廃棄物の処理に関する制度を解説する。	講義	復習課題:授業内容	45
7	テーマ:地球環境と健康 地球環境が私たちの健康に及ぼす影響について、また世界、日本の環境保全の対策について解説する。	講義	復習課題:授業内容	60
8	テーマ:難病対策・がん対策 難病を抱えて療養生活する人々を支えるための法律とシステムを解説する。がん対策について解説する。	講義	予習課題:難病について調べ学習 復習課題:授業内容	60
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>公衆衛生学の範囲は広く、テキストに網羅されている内容は、「保健統計学」「感染と免疫」「社会保障概説」、「公衆衛生看護学概論」「疫学」「国際看護学」「医療と倫理」及び各看護学概論のなかでも履修します。公衆衛生学の科目と関連科目との知識を統合して理解することが求められます。</p> <p>また、地球規模での環境と健康との関連についてトピックスを紹介しますので、興味関心のある方はインターネットなどでさらに調べて理解を深めましょう。</p>			
テキスト	公衆衛生がみえる 2022/2023, メディックメディア			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生マニュアル ・国民衛生の動向, 厚生労働統計協会 ・系統看護学講座:基礎専門分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度②(医学書院) 			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>看護は人々の健康を支える専門職です。社会のなかでどのようにして人々の健康が支えられているのでしょうか。当たり前になっている身の回りの環境を、健康の視点から見つめると、公衆衛生の意義を知ることができます。また、地球規模での環境と健康との関連についてトピックスを紹介しますので、興味関心のあるテーマについて、インターネットや文献などで学修を深めることを期待します。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	詳細は授業時に説明する。			

